

News Release

平成20年10月30日

パイオニア株式会社
代表者名 代表取締役社長 須藤 民彦
(コード番号 6773 東証第一部)
問合せ先 常務取締役経理部長 岡安 秀喜
電 話 (03) 3494-1111

退職プログラムの結果についてのお知らせ

当社は、平成20年5月13日に発表したディスプレイ事業の構造改革とホームエレクトロニクス事業の損益改善の施策として、退職プログラムを実施しましたので、その結果につき次のとおりお知らせします。

1. 退職プログラムの結果

- (1) 国内の管理部門および販売部門を対象とした特別退職優遇措置による退職者募集
退職者数 309名 (募集人数 約300名)
実施期間 平成20年8月18日から9月8日まで
退職日 平成20年9月30日
- (2) パイオニア・ディスプレイ・プロダクツ株式会社 山梨工場における特別退職プログラムの実施
退職者数 205名 (平成20年6月30日現在の同工場従業員数 279名)
実施期間 平成20年8月18日から9月5日まで
退職日 平成20年9月30日

(注) 同工場は、プラズマディスプレイパネルの生産終了に伴い、平成20年9月30日をもって閉鎖しました。

2. 業績に与える影響等

上記の退職プログラム(退職者 計514名)に係る特別退職金は、本日発表の平成21年3月期第2四半期の業績に計上した事業構造改革費用15,616百万円に含まれています。

なお、プラズマディスプレイパネルの生産については、パイオニアプラズマディスプレイ株式会社 鹿児島工場では平成20年11月に、パイオニア・ディスプレイ・プロダクツ株式会社 静岡工場では平成21年2月に終了することとしているため、特別退職プログラムを別途実施する予定ですが、それに伴う特別退職金は上記の事業構造改革費用に含まれています。

業績および今後の見通し等の詳細につきましては、本日付の別途発表資料『平成21年3月期 第2四半期 連結業績についてのお知らせ』をご覧ください。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、厳しい価格競争、主観的で変化しやすい消費者の嗜好等を特徴とする、競争の激しい市場において、評価の高い製品やサービスを継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術進展に応じて、競争し、販売戦略を策定、成功させる能力、(6)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)他社との合弁や提携の成功、(9)事業構造改革の成功、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

以上